

開催概要

日時 令和6年3月1日(金) 18:00~19:20

場所 登別中央ショッピングセンターアーニス 2階 あえるSTATION

出席者 ワーキンググループ委員 別紙のとおり

事務局・オブザーバー 別紙のとおり

議事内容

1 開会

事務局(総務部本庁舎整備推進グループ)が進行

2 WGにおける協議事項について

事務局

【1】前回の振り返り

【2】前回いただいた図書館協議会等からの意見及び事務局の考え方について

図書館協議会からの意見	事務局の意見
<p>(1) アーニスに図書館を移転した場合、移転先での駐車場の確保や配架のゆとり、そして図書館がサードプレイス(家庭や職場、学校以外の居心地の良い場所のこと)としての位置づけができることが挙げられる。</p> <p>課題として、アーニスでの十分な面積確保や耐震性、耐過重性、バリアフリー化の問題などが挙げられる。</p> <p>(※他自治体で見られる指定管理者制度の導入や、図書館職員の非正規雇用問題についての意見もあったが、移転に直接関係しないため、協議の対象外とした。)</p>	<ul style="list-style-type: none">・「十分な面積の確保」という課題点に関しては、現在の図書館本館と、アーニス分館の合計面積は約1,300㎡であり、アーニスでの利用可能スペースは約1,500㎡となる見込みである。実際には、本館のトイレや階段スペースなども含まれるため、実質的な面積はさらに増加する可能性がある。・「アーニスの耐震性能、耐過重」については、アーニスは平成6年に建築された建物であり、新しい耐震基準に適合している。一方で、図書館本館は約50年前の建物であり、旧耐震基準に基づいている。耐過重に関しては、図書館の方が優れているが、面積が増え、具体的な配架計算によれば、アーニスの2階のスペースでは約11万冊の本を設置可能であり、現在の本館及びアーニス分館の冊数よりも十分なスペースがあるとされている。・アーニスのバリアフリー化という課題点については、改修によって解消可能。

まちづくり協議会からの意見	事務局の意見
<p>(1) 図書館協議会委員が前回、ワーキンググループに参加した理由と経緯について</p>	<ul style="list-style-type: none">・図書館移転案については、市民からの提言書の提出があったことから議論を進め、また、協議会で

	<p>移転に関して肯定的だったことからワーキンググループでの具体的な協議を行ってきた経緯があることから、今回は、現実的に移転が可能か協議するため、図書館に詳しい方から意見を聞く場を設けた。</p>
<p>(2) 協議会で方針を決定した後にワーキンググループで詳細を検討する方が良いのではないかと。市が方針を示さないと永遠に議論が続く可能性があるのでは。</p>	<p>・協議会を設置した際に、次代を担う若い世代のまちづくりに関する意見や要望などが反映できるようワーキンググループと学生委員会を設置した。協議事項やスケジュールなどは協議会で決定し、ワーキンググループにて具体的な協議を行ってきた経緯があることから、進め方については、現状を維持した形で取り組んでいきたい。</p>
<p>(3) 市が方針を示さずに議論を進める理由について</p>	<p>・市民や関係者の積極的な参加を促すためや、様々な視点からの議論を可能にするためなど、あらゆる可能性を排除しないためにも、現時点で市が協議会に対して方向性を示すことはせずに、協議をおこなっていただきたいと考えております。</p>

【3】協議事項（中心地にある商業施設の活性化）

① 昨年の協議で出た意見について

- (1) 図書館を移転する案の他に、図書館に付加価値を持たせるための飲食や勉強ができるスペース、コワーキングスペース、カフェの設置についての提案
- (2) 図書館以外の案として、カフェやキッズスペース、イベントや貸しオフィスなどの利用できるスペース、集客力のある店舗の誘致など

② 今回のワーキングで出た意見

委員（1）

- 現在、アーニスの2階の空きスペースへの誘致が1番苦勞している。ぜひ、図書館構想の話を進めてもらいたい。
- バリアフリー化についてはできる限り対応させてもらおう。

委員（2）

- 今後を考えると、長期的に使えるようなものの方がいいと思う。流行りものに飛びつかないでほしい。他市町村でうまくいっているところに飛びつくのではなく、登別市民が長期的に、しっかり使っていければと思う。
- 学習するという点をメインに世代間交流ができるような施設がいい。

委員（1）

- 図書館以外の案で、カフェスペース、レンタルスペース、集客力のある店舗の誘致があるが、この中で、同じ品目がバッティングしないように努めなければいけない。

- キッズスペースについても、以前、絨毯を引いてキッズスペースを作っていたが、遊具等の老朽化による子供の怪我防止や、コロナ禍での消毒など管理が行き届かない部分が出てくることから、現時点では、アーニスにはそのようなスペースは設けていない。
- 過去に、イベントや貸しオフィス、レンタルフリースペース等についても、一時考えられたが、予算的に難しいと判断した過去がある。
- 集客力の見込める店舗の誘致についても、大きな企業に来てくれればありがたいが、そのような企業は、オープンするにあたり、市場調査を実施しており15万から20万の人口がなければ進出が難しいとのこと。

委員(3)

- 図書館をアーニスに持ってくる場合、ターゲットを絞らず、高齢者から子供まで、幅広い年代の方に来てもらう必要がある。幅広い年代と考えた時には、キッズスペースがあって子供が遊べるスペースがあり、自分たちのようなサラリーマンが普段から利用できるようにした方がいい。
- 登別は、驚別方面や温泉方面もあるので、そっち方面の人たちが来たくくなるような施設でなければならないと思う。
- 単に、図書館があるの場合、周辺に住んでる人だけしか来ないと思う。移転した場合、周辺に住んでる方以外にも、図書館があることで、遊ぶついでに買い物してもらえそうな相乗効果が期待できると思う。アーニスに、図書館を併設し、図書館を核としてできることを考えることがベストではないかと思う。

委員(2)

- 図書館本館はまだ使えるのか。使えるのであれば、資料館や保管スペースといった形で利用できないか。
- アーニスの学習スペースについて、近隣の学校に通う生徒が電車待ちなどの時間で利用していると伺ったが、勉強してる姿が各世代間で見られるということは、非常に重要なことだと思うので、そのような施設であればいいと思う。
- 図書館という枠にとらわれるのではなく、本館と機能分解し、生涯学習施設のような利用できないか。また、学習するスペースがあるのであれば、飲み物等があった方がいいので、カフェがあるみたいなイメージはどうか。
- 大人も、オープンスペースで勉強会等を実施し、子供たちの目に触れるような場所にもなれば良いと思う。真剣に仕事や勉強している大人を子供たちが見れるようなことも大切だと思うので、生涯学習施設という形で発展させるのも良いと思う。子供は、キッズスペース等で遊べるようになればいいと思う。

委員(4)

- アーニスには、エレベーターとエスカレーターがあるので障がい者も利用できる。今の図書館にはエレベーターがなく、障がいのある人が困っているので図書館の移転に関しては、良いと思う。

委員(5)

- 正月に震災があり、いつ災害が起きるか分からないといった状況の中で、耐震性の低い建物に市の財産を保管しているというのはリスクがあると思う。現実的に考えた場合、新館が立てられる状況になるまでの間、耐震性のある建物に、図書館を移す、機能を移すというのは、現実的に考えて、ありだと思う。災害といった面から見ても、早く手を打たないといけないのでは。
- 機能を足したりするというのは夢が膨らむと思うが、まずは核となる図書館を移転して、そこから少しずつでもいろんな機能を足していけばいいのでは。

委員(6)

- 図書館の新築を建てるという目標を捨てたら角が立つのかなと思う。新築されるまでの間で、現時点でできる最善の策だと思う。いい機会になるんじゃないかと思う。

委員(7)

- 移転については賛成だが、ワーキングで決めたことを図書館側に依頼するのか。まずは、図書館側が来てくれるのかという部分が大事だと思う。ソフトの部分等についての話し合いは必要だとは思いますが、図書館側の意思の部分について置き去りになってるような気がする。
- スプリンクラーの誤作動で本が傷んでしまうなどは危惧されるのではないか。

事務局

- 今後の流れとしては、図書館の移転について提言書を作ると仮定した場合、ワーキンググループで決定し、協議会に諮り、会としての提言書を市に提出することになる。その後、提言を受けて、市として、方針を決定するという流れになる。
- 図書館については、教育委員会と検討することになると思われる。
- 事務局としては、耐震化の問題もあるので図書館の課題解決の1つとしてアーニスに移転するというのは、手法としてはありだと考えている。

委員(7)

- 早めに結論を出してもらい、ソフト面やスペースの活用などを議論すればより具体的な話になるのでは。

事務局

- 意見がまとまった段階で、中間報告という形で市に報告したいと考えている。

委員(8)

- 様々な世代や人から意見が出ていることから、まちづくりをするにあたって、登別にほしいものがたくさんあることが分かった。しかしながら、お金もかかるので、まずはあるものを生かすというのであれば、アーニスに図書館機能を移行することが何よりも、スマートに進められる方策なんじゃないかと思う。

委員(9)

- 今まであったものを大切にしながら商業施設も活性化していくことが1番いいと思う。
- 図書館だけではなく、キッズスペースも必要かと思う。子供を連れてくる場所があるというだけでも活性化に繋がると思う。また、キッズスペースに必ず遊具がなければならないというわけではなく、マットを引いてあるだけでも子供は遊べると思うので、そのような場所もあった方が良く思う。

- 外部からカフェを持ってくることが難しいということは承知した。アーニス内の飲食店で、子供向けのメニューを変えたり、増やしたりするなど、なるべく手間もかからない範囲で変えていく方が良いのでは。

委員(10)

- アーニスに移転した方が前向きな意見が組み入られるのではないかと思う。
- 図書館以外の案を考えるより、アーニスに図書館を移動させる方法を考えるべきではないか。

委員(11)

- 室蘭には、「えみらん」と「きらん」という図書館があって、「きらん」にはこどもが遊べるスペース、「えみらん」には科学館がある。自分の息子が、毎日のように勉強しにしていることもあるので、勉強スペースは、あった方がいいと思う。
- 併せて、科学館などの遊ぶスペースのような人を集めるような仕掛けがあった方がいいのでは。

委員(12)

- 図書館を移動させることに関しては賛成だが、追加で何か機能がないと、客は見込めないのではないか。お金をかけなくても、学習スペースのようなものがあるだけでもちゃんと利活用できるのではないか。

委員(13)

- 施設側としては、図書館が来ることで集客力が上がると思う。
- アーニスを核にして、町に人を呼び込む仕掛けを考えていかななくてはいけないと思う。

事務局

- 図書館の移転については賛成の意見がほとんどだったので、その方向でワーキンググループとして提言書を取りまとめるという方向でよろしいか。

(一同 賛成の声)

- 今後の流れについては、事務局で今日の内容を踏まえて提言書の案を作成し、メール等で委員に周知し、内容を確認してもらいたい。最終的に、完成した提言書を協議会に諮ることになる。

協議会 会長

- 先日、宮崎県都城市の図書館を見学したが、本日、協議した内容や意見が全て込められている、大変素晴らしい図書館だった。ワーキンググループとして、まずは、どのような図書館にするかの要望を出すのではなく、アーニスに図書館を移転するという方針を固めるべきだと思う。

以上